

幸区・川崎区・横浜市鶴見区の間で防災や防犯に関する連携協定を締結

平成27年11月12日に協定を締結しました。今後、避難所や病院などの社会的資源の相互利用、防災訓練の合同実施などを検討していきます。

平成28年2月24日には、国道1号線沿線における帰宅困難者対策訓練を合同で行い、災害時などにおける各行政区の間の連携強化を図っていきます。



包括連携協定の締結式

防災関係機関との連携

電気、ガス、鉄道、医療などの関係機関と川崎市が協定を締結し、災害時の応急対策や防災活動を円滑に行うために、連携強化を進めています。

防災協力事業所登録制度

事業所も地域の一員として、平常時からの地域の防災訓練への参加、災害時における日用品の提供・資器材の貸し出し・一時避難場所の提供などについて、できる範囲内で防災活動に協力していただく制度で、区内では平成28年2月26日現在、9事業所が登録しています。

◆区内の防災協力事業所一覧

- (株)ハヤカワ / 小倉803-1
- オーベルグランディオ川崎管理組合 / 神明町1-80-1
- (株)眞和 / 幸町1-987-3
- 川崎信用金庫(御幸支店) / 南幸町3-34-2
- 川崎信用金庫(加瀬支店) / 南加瀬3-6-1
- (株)衣鳩工務店 / 南加瀬2-18-19
- (株)トモエカンパニー / 幸町2-693
- 宝建工業(株) / 北加瀬2-5-35
- 幸伸工業(株) / 北加瀬1-10-12

区役所の防災機能の強化

平成27年5月に区役所新庁舎がオープンしました。区役所は、災害時における重要な防災拠点であり、さまざまな機能が備えられています。



▲地震がきても建物が倒壊しないように区役所として初めて免震構造を採用



▲太陽光発電設備を屋上に設置し、蓄電池と合わせて災害時に利用可能



◀自家発電設備を設置し、停電時も3日間は防災拠点としての機能を維持できる量の燃料を保管

市内で大規模な災害が発生した場合や、発生するおそれがある場合には、直ちに災害応急対策を行うために、区災害対策本部を設置します。区役所では、区の災害対策拠点の機能強化に向けて、平常時から実践的な防災訓練を行っています。



被害状況の情報収集▲



通信設備の設置▶

防災情報を配布中! 日ごろからの備えが大切です。

●防災啓発広報誌「備える。かわさき」

地震が起きたときの安全確保のポイント、避難するときの注意、地震のときにとるべき行動、平常時からの食料等の備蓄や非常持出品、家庭での防災対策、災害時の情報収集など、防災情報が満載です。



区役所などで配布中。市ホームページからご覧いただけます。

●メールニュースかわさき

登録いただいたメールアドレスに川崎市の防災、気象、災害等に関する情報を配信します。配信を希望する人は、空メールを送信してください。

◆パソコンから
mailnews@k-mail.city.kawasaki.jp

◆携帯電話・スマートフォンから
mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp



●防災・ハザードマップ 区役所などで配布中。市ホームページからご覧いただけます。

防災マップ

避難所、応急給水拠点、救急告示病院などを示したマップです。



土砂災害ハザードマップ

土砂災害警戒区域がわかるマップです。土砂災害に対する安全行動や、日ごろの備えなども掲載しています。



津波ハザードマップ

津波による浸水の範囲や深さを予測したマップです。津波に対する行動や、日ごろの備えなども掲載しています。



洪水ハザードマップ

記録的な大雨によって河川が増水し、堤防の決壊や水があふれた場合の浸水の範囲や深さを予測したマップです。避難するときの正しい行動や、必要な準備についても詳しく掲載しています。

